

令和4年度 第1回 大分市総合教育会議

日時：令和4年6月7日(火) 10:00~11:00

場所：本庁舎8階 大会議室

次 第

1. 開 会

2. 議 事

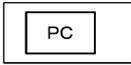
(1) 令和4年度「大分市教育大綱・大分市教育ビジョン」関連事業について

(2) ヤングケアラーへの対応について

3. 閉 会

令和4年度 第1回総合教育会議

6月7日(火) 10:00~
本庁舎8階 大会議室



webカメラ

市長 教育長

古城(和)委員

古城(一)委員

上杉委員

岡野委員

webカメラ



モニター

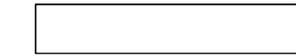
廣津留委員
(オンライン参加)



マイク・スピーカー

モニター

記者席



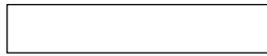
教育部 教育監
坪根審議監



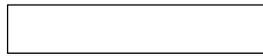
教育部長 企画部長



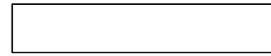
子どもすこやか 企画部
部長 高橋審議監



学校教育 教育総務
課長 課長



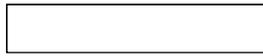
教育部 企画部
村上次長 林審議監



企画部 企画課長
川野次長



人権・同和教育 体育保健
課長 課長



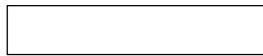
学校施設 スポーツ振興
課長 課長



中央子ども 子育て支援
家庭支援セ 課長
ンター所長



教育センター 美術振興
所長 課長



商工労政 文化振興
課長 課長



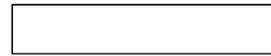
国際 保育・幼児
課長 教育課長



社会教育 公園緑地
課長 課長



市民協働推進 障害福祉
課長 課長



生活福祉 長寿福祉
課長 課長



傍聴席



傍聴席



傍聴席

入口

基本方針1 生きる力をはぐむ学校教育の充実

大分市教育大綱 目標	令和4年度事業	大分市教育ビジョン 重点施策
目標1 次代を担う 人材育成	大分市小中一貫教育推進事業	小中一貫教育の推進
	教科指導マイスター派遣事業 大分っ子基礎学力アップ推進事業 イングリッシュ・アドバイザー派遣事業	確かな学力の定着・向上
	学校図書館活性化事業	豊かな心の育成
	★民間プール活用委託事業 歯と口の健康づくり事業	健やかな体の育成
	青少年国際理解推進事業 中学生オースチン留学事業 ハーバード大学生との交流事業 ●外国語指導助手招聘事業 東京オリンピック・パラリンピック事前キャンペーン 受入れレガシー事業	社会の変化への対応
■特別支援等教育活動サポート事業 ★特別支援教育アドバイザー派遣事業	特別支援教育の充実	
市立幼稚園一時預かり事業	幼児教育の充実	

基本方針2 子どもたちの学びを支える教育環境の充実

大分市教育大綱 目標	令和4年度事業	大分市教育ビジョン 重点施策
目標2 学びのセーフティ ネットの構築	★子育て世帯訪問支援事業 スクールソーシャルワーカー活用事業 ●いじめ・不登校等未然防止対策事業 ■不登校児童生徒支援事業 (スクールライフサポーター活用事業) ●奨学助成事業 就学援助事業 ■放課後等デイサービス(障害児通所支援事業) ■日本語指導等支援事業 特別支援教育メディカルサポート事業 ■医療的ケア児教育・保育事業	全ての子どもたちの学びの保障
	★学校施設照明LED化整備事業 ●学校施設整備保全事業(長寿命化改修) ●大在東小学校施設整備事業 ●金池小学校施設整備事業	時代の変化に対応した教育環境の整備
目標3 質の高い学びを 実現する教育 環境の整備	教職員指導力向上推進事業 ■スクールサポートスタッフ配置事業 ●学校給食費会計化等学校徴収金管理事業 学校校連絡システム整備事業 部活動指導員活用事業 運動部活動総合活性化事業	教職員の資質能力の向上及び働き方改革の推進
	学校評議員・学校運営協議会	地域とともにある学校づくりの推進

基本方針3 社会教育の推進と生涯学習の振興

大分市教育大綱 目標	令和4年度事業	大分市教育ビジョン 重点施策
目標4 生涯学習支援体制や 家庭教育支援 の充実	●公民館類似施設整備事業 ●地区公民館施設整備事業 ★のつはる西部の楽校管理運営事業 ●関崎海星館施設整備事業 市民図書館管理運営事業	生涯学習支援体制の充実
	おおいたナイトスクール事業 子どもの学習支援事業	学習機会や内容の充実
目標5 地域における 子どもの健全育成 の充実	おおいたふれあい学びの広場推進事業	地域活動の充実
	●児童育成クラブ事業 青少年育成事業(中央補導活動事業)	地域における子どもの健全育成

基本方針4 個性豊かな文化・芸術の創造と発信

大分市教育大綱 目標	令和4年度事業	大分市教育ビジョン 重点施策
目標6 文化・芸術を 生かしたまちづくり	★新たな知の拠点整備事業 ■アートを活かしたまちづくり事業 ★アーティストバンク推進事業 アートレジオン推進事業 のつはる音の森フェスティバル	美術の振興と発信
	大分城址公園整備・活用事業 ●大友氏遺跡保存整備事業 ★FUNAI文化遺産整備基金積立金 ★小牧山古墳群基盤整備事業 ★DXによる地域文化資源の継承及び活用推進事業	文化財の保護・保存・活用

基本方針5 スポーツの振興

大分市教育大綱 目標	令和4年度事業	大分市教育ビジョン 重点施策
目標7 スポーツを通じた 地域活性化	トップアスリート育成・支援事業 ●大南地区スポーツ施設整備事業 ●スポーツコミッション推進事業	スポーツ振興に関する事務は、平成29年度に市長部局に移管

基本方針6 人権を尊重する社会づくりの推進

大分市教育大綱 目標	令和4年度事業	大分市教育ビジョン 重点施策
目標8 人権尊重を基盤とした 教育活動の充実	教育指導一般事業(啓発資料の作成等)	学校教育における人権・同和教育の推進
	教育指導一般事業(人権教育推進協議会等)	社会教育における人権・同和教育の推進
目標9 人権尊重社会の実現に 向けた人権啓発の推進	人権フェスティバル等事業	人権啓発の推進

令和4年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業

拡充事業

重点事業

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和4年度)	担当課
目標1 次代を担う人材 育成	小中一貫教育の 推進	1	大分市小中一貫教育推進事業	「確かな学力の定着・向上」、「豊かな心の育成」、「健やかな体の育成」をバランスよく推進し、自ら学び自ら考える力などの生きる力を育成する上から、義務教育9年間を見通した系統的な教育を行うとともに、小中学校間の円滑な接続を図る小中一貫教育を推進する。	小中一貫教育実践発表校である4校区(戸次中、穂田南中、王子中、大東中)が、学校や地域の実情に応じたこれまでの研究内容や成果について、公開研究発表会や小中一貫教育推進フォーラム等を通して、市内全小中学校に還元する。また、各学校が学校や地域の特色を生かした系統的な教育課程を編成、実施、評価して改善を図り、9年間を見通した系統性・連続性のある教育の充実につなげる。	学校教育課
		2	教科指導マイスター派遣事業	経験豊富で実績のある退職教職員を「教科指導マイスター」として中学校に派遣し、国語科、数学科、理科、社会科、英語科の具体的な授業場面において担当教員へ指導・助言を行う。	国語科4名、社会科3名、数学科4名、理科4名、英語科2名の教科指導マイスターを配置する。 教科指導マイスターは、各学校を年間8～10回程度訪問し、各学校における学力や学習の状況、授業観察の結果等を踏まえ、教科指導の在り方等について指導・助言を行う。	学校教育課
	3	大分っ子基礎学力アップ推進事業	児童生徒の基礎学力の向上に向け、小学校4校と中学校2校を「基礎学力向上研究推進校」に指定し、教科指導における実践的な研究を進めるとともに、市内全小中学校等を対象に、標準化された学力調査を実施する。	指定校2年目となる鶴崎小学校、小佐井小学校、穂田東中学校については、公開研究発表会等を通して、2年間の研究成果を他校に還元する。なお、指定校1年目となる西の台小学校、鷺野小学校、原川中学校のうち、西の台小学校については、大分大学と連携し、研究を進める。また、市内全小中学校等を対象に標準学力調査を実施する。 【標準学力調査実施教科】 小4:国語、算数、理科 中1:国語、社会、数学、理科、英語	学校教育課	
	4	イングリッシュ・アドバイザー派遣事業	英語教育に関する専門的な知識と技能を備えるとともに、教職経験又は外国語指導助手経験が豊富で実績がある退職教員等を「イングリッシュ・アドバイザー」として各小学校及び義務教育学校に派遣し、英語教育に関する指導・助言を行い、教員の授業力を向上させることにより、児童の学力の定着・向上を図る。	イングリッシュ・アドバイザー(以下EAとする)3名を配置する。EAは、派遣校の高学年の各学級において、指導担当教員とともに年間10回程度のチーム・ティーチング授業を実施する。授業後には、研究協議を開催し、小学校学習指導要領、大分市小学校英語教育推進ハンドブック、授業観察の結果等を踏まえ、授業改善に向けた指導助言を行う。また、EAは次回以降の授業にかかる準備の補助を行う。	学校教育課	
	豊かな心の育成	5	学校図書館活性化事業	各小中学校において学校図書館の司書業務を支援する「大分市学校図書館支援員」を配置することにより、大分市の児童生徒に豊かな感性や情操を育む読書活動を推進し、読書に親しむおおいっ子を育てる教育活動の充実を図る。	小中学校等に学校図書館支援員を60名配置する。 (兼任20名、専任40名)	学校教育課
		6	民間プール活用委託事業	老朽化した学校プールの維持管理費等の確保や水質管理等に係る教員の負担等が課題となる中、近隣のスポーツクラブ等の民間プールを活用した水泳授業をモデル校において実施し、水泳授業の在り方について検証する。	大分市立金池小学校をモデル校として、近隣のスポーツクラブの民間プールを活用した水泳授業を実施する。授業終了後、現行の水泳授業と民間プールを活用した水泳授業について、費用面や教育的効果等の観点から比較・検証する。	体育保健課
	健やかな体の育成	7	歯と口の健康づくり事業	歯みがき指導、食に関する指導に加え、むし歯予防効果が高いフッ化物洗口を導入することにより、学校における歯と口の健康づくりを推進する。	フッ化物洗口および歯科衛生士を派遣する歯みがき指導について、市立学校全校で実施する。(新型コロナウイルス感染症の感染状況により実施できない可能性あり)	体育保健課
		8 (市)	青少年国際理解推進事業	市内の小中学生が留学生とともに、簡単な英会話を楽しみながら、市内で「なぞ解き」等を行うイベント。与えられたミッションを共有しながら活動および交流をする体験を通じて、子どもたちが外国人に親しみをもち、世界や多文化共生に目を向ける機会を創出する。	現在内容や実施日、場所等を調整中 内容:外国人と直接触れ合える、「なぞ解き」等をテーマとしたイベント 場所:調整中 実施日:調整中 対象:小学生	(市) 国際課
	社会の変化への 対応	9 (市)	中学生オースチン留学事業	姉妹都市オースチン市との青少年交流の活性化及びグローバル人材の育成を図るため、市内の中学生6名をオースチン市へ派遣し、テキサス大学等の英語学習プログラムを受講するほか、姉妹都市委員会との交流や市長表敬訪問等を行う。	・大分市の中学生6名を選抜し、オースチン市へ派遣する。(選抜方法については今後調整) ・テキサス大学等のESLクラスにて、約2週間英語レッスンを受講するほか、姉妹都市委員会との交流や市長表敬訪問等を行う。 ※ESL・・・English as a Second Language の略語。英語を母国語としていない人が第二言語として英語を学ぶクラスのこと。 ・参加者は、英語及びコミュニケーション能力の向上のため、渡航前に事前講座を受講する。 ・帰国後は、現地での体験の発表や、次年度に参加する中学生へのサポートをする。 ・参加者の自己負担は10万円とする。 ・市職員1名が随行し、中学生のサポートを行うとともに、職員自身も国際化スキルの向上を図る。 ・実施日:調整中	(市) 国際課

令和4年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業 拡充事業 重点事業

(市)・・・市長部局

教育大綱目標	教育ビジョン重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和4年度)	担当課
目標1 次代を担う人材育成	社会の変化への対応	10 (市)	ハーバード大学生との交流事業	一般社団法人Summer in JAPAN(サマーインジャパン 略称SIJ)が主催する英語のサマースクール「サマーインジャパン」では、ハーバード大学生が、世界各国から応募する生徒へ講義などを行っている。大分市とSIJが連携し、大分市を訪れたハーバード大学生と市内小・中学生が英語を使って交流する「SWIM」を開催する。また、ハーバード大学生には大分の文化や自然等を体験してもらい、SNSなどを使い大分市の魅力を世界に発信してもらおう。 ※SWIMとは、“Summer Workshop for Immersive Multiculturalism”(多文化にどっぷりつかる夏のワークショップ)の頭文字をとったもの。	実施日:交流会:8月8日(月) 事前英語講座:7月16日(土) 定員:150名(小学3年生～中学3年生、初級、中級、上級の3コース) ※ 応募者多数の場合は、抽選 実施内容: 【海外学生が来日する場合】ハーバード大学生とのリアルなコミュニケーションを通じて、特にスピーチに力を入れた学習を実施。 【海外学生が訪日できない場合】ハーバード大学生作成の動画を活用して実施 会場: 大分県労働福祉会館ソレイユ 7階カトレア 今年の目標:英語コミュニケーションを通して多様性を理解し、グローバルな問題を解決できる、国際社会で活躍する人材を育てる。	(市) 国際課
		11	外国語指導助手招聘事業	小学校第3、4学年の外国語活動や、小学校第5、6学年及び中学校の英語科を中心に、ALTを活用して児童生徒が外国語等の異文化に触れることにより、関心・意欲を高め、コミュニケーション能力の素地や基礎の育成を図る。	児童生徒が生きた英語に直接触れる機会をより多く確保し、授業を実際のコミュニケーションの場とするなど指導体制の充実を図るため、JETプログラムの活用に加え、民間派遣事業者も活用し、ALTを34名体制とする。	学校教育課
		12 (市)	東京オリンピック・パラリンピック事前キャンペーン受入れレガシー事業	令和3年度に東京オリンピック事前キャンプとしてフィジーオリンピック選手団を受け入れたことから、レガシー事業として交流事業を行っている。 今年度については、大分市とフィジー共和国双方の中学生によるオンライン交流会を実施する。	【交流者】大分市:大分市内の中学校の中から1校を選定。 フィジー共和国:フィジー共和国の中学生年代の1校を選定。 【実施内容】実施時期や実施内容については現在フィジー大使館と協議中。	(市) 国際課
	特別支援教育の充実	13	特別支援等教育活動サポート事業(学校教育課)	学習や生活指導上、特に配慮が必要な児童生徒が在籍する学校に補助教員を配置し、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導を行う。	学習や生活指導上、特に配慮が必要な児童生徒に対し、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導を行うため、小中学校等に補助教員(134名)を配置する。 申請のあった学校へ配置できた割合 93.7%(R3)→91.2%(R4)	学校教育課
		14	特別支援教育アドバイザー派遣事業	小中学校及び義務教育学校に経験豊富で実績のある退職教員を「特別支援教育アドバイザー」として派遣し、特別支援学級担任及び通常の学級担任等に対し、特別支援教育に関する指導・助言を行い、教育上特別の支援を必要とする児童生徒への指導・支援の充実及び特別支援学級担任や特別支援教育コーディネーター等の専門性の向上に努め、校内支援体制の充実を図る。	特別支援教育アドバイザー(以下アドバイザー)3名を拠点校及び対象校に派遣する。	教育センター
		15 (市)	市立幼稚園一時預かり事業	市立幼稚園3園(舞鶴幼・宗方幼・大在幼)において、自園の園児を対象に通常の教育時間終了後及び長期休業日に、保護者の希望により17時30分まで有料で園児を預かる。	令和4年度以降も、引き続き3園による一時預かり事業を実施し、子育て支援の充実を図ることとしている。	(市) 保育・幼児教育課
	目標2 学びのセーフティネットの構築	全ての子どもの学びの保障	16 (市)	子育て世帯訪問支援事業	家事・育児に対して不安や負担を抱えているヤングケアラーおよび妊産婦等に対して、家事・育児支援ヘルパーを派遣する。	令和4年10月までに対象者の選定方法の検討や実施事業者の選定等を行う予定である。併せて、支援の狭間にある子どもや家庭等に対して支援の手を届けることができるよう、あらゆる機会を通じ、周知を図る。
17			スクールソーシャルワーカー活用事業	不登校をはじめ、いじめ・暴力行為・児童虐待など生徒指導上の課題への対応が求められる中、行政や関係機関と連携した相談活動など包括的な支援を行うため、スクールソーシャルワーカーを効果的に配置し、児童生徒のおかれた様々な環境に働き掛けるとともに、学校における教育相談体制の整備、充実を図る。	会計年度任用職員のスクールソーシャルワーカー(以下、「SSW」という。)24名を、中央、東部、西部の3エリアに配置し、市立小中学校及び義務教育学校を担当する。また、正規職員の主任SSWを教育センター及び東部・西部子ども家庭支援センターに各1名、統括SSWを教育センターに1名配置する。	教育センター
18			いじめ・不登校等未然防止対策事業	hyper-QU検査を行い、児童生徒や学級の現状及び課題を的確に把握し、いじめ・不登校等の未然防止につながる学級集団作り等に活用する。	hyper-QU検査を全小学校(第4学年～第6学年)、全中学校(第1学年～第3学年)、義務教育学校(第4学年～第9学年)において年2回実施するとともに検査結果を各学級ごとに、個別指導や学級経営に活用する。	学校教育課

令和4年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業

拡充事業

重点事業

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和4年度)	担当課
目標2 学びのセーフ ティネットの構築	全ての子どもの 学びの保障	19	不登校児童生徒支援事業 (スクールライフサポーター活用事業)	学校に登校はできるが教室にはいけない児童生徒が教室復帰したり、登校に無気力さや不安を抱える児童生徒が安心して登校したりできるように支援や援助をする目的で、中学校と、義務教育学校にスクールライフサポーター(各校1名)を配置する。	学校に登校はできるが教室にはいけない児童生徒や、登校に無気力さや不安を抱える児童生徒に対し、支援教室において、社会的自立や教室復帰に向かう支援を行うとともに、必要に応じて入室した児童生徒の学習支援を行う。	学校教育課
		20	奨学助成事業	高校生及び大学生を対象に奨学資金の貸付を行うほか、高校生を対象に「未来自分創造資金」として返済の必要のない奨学資金の給付を行う。	給付型奨学金である「未来自分創造資金」については昨年度に引き続き、100名を募集する。	学校教育課
		21	就学援助事業	経済的理由により就学困難と認められる児童及び生徒の保護者に対して、就学に必要な費用の援助等を行う。	新入学学用品費について、就学前児童並びに小学校6年生を対象に入学前の3月に支給する。また、小中学校の卒業アルバム代等費及び中学校3年生学力診断テスト費を補助対象項目としている。	学校教育課 体育保健課
		22 (市)	放課後等デイサービス (障害児通所支援事業)	学校就学中の障がい児等に対して、放課後や長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供する。 学校教育と相まって障がい児等の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進する。	利用する障がい児等が大幅に増加していることから、必要な財源の確保に努めるとともに、障害児等とその保護者が望む適切なサービスを提供するために、放課後等デイサービス事業所の管理者、責任者を対象として、スキルアップを目的とした研修を実施する。	(市) 障害福祉課
		23	日本語指導等支援事業	各学校に在籍する日本語指導が必要な児童生徒等の学校生活への円滑な適応を図るため、日本語指導を行う講師や日本語指導専任指導員、通訳を各学校に派遣する。	日本語の指導が必要な児童生徒や日本語が十分に理解できない保護者に対し、日本語指導を行う講師や通訳者を各学校へ派遣し、支援する。 また、日本語指導専任指導員を拠点校2校に各1名配置し、来日直後等の児童生徒が在籍する学校へ出向き、集中的な指導や支援を行う。	学校教育課
		24	特別支援教育メディカルサポート事業	日常的に痰の吸引などの医療的ケアを必要とする児童生徒に対して、訪問看護ステーションから看護師を派遣し、医療的ケアを実施することで児童生徒の安全な学校生活及び保護者の負担軽減等、合理的配慮を図り、児童生徒の教育機会を保障する。	【活用内容】 小学校4校7名、中学校1校1名(導尿、喀痰吸引、ヘパリン生食注入) 最大週5日の派遣とし、喀痰吸引は最大8時間、導尿は対象となる児童生徒の状況に応じて1日1回又は1日2回を1回につき30分以内、ヘパリン生食注入は1日2回の利用とする。4事業所と委託契約を結び、看護師を派遣して対応する。	教育センター
		25 (市)	医療的ケア児教育・保育事業	日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケアを受けることが不可欠である児童が在籍している特定教育・保育施設に訪問看護ステーションから看護師を派遣し、医療的ケアを実施することにより、就学前の子どもの安全な集団保育及び教育活動の確保並びに保護者の負担軽減を図り、もって児童福祉の向上及び教育機会の保障に寄与する。	市立幼稚園で1園2名、公立保育所で1名が利用中。 幼稚園利用の1名は、医療的ケアの内容は導尿であり、1日1回、週4回、1回につき30分以内の派遣である。もう1名は、たんの吸引、在宅酸素、経管栄養の3つの医療的ケアが必要な園児であり、適正運営委員会において、看護師の常駐が必須との判断があるが、園児が園に滞る時間看護師を派遣できる事業所がなく、2事業所を組み合わせ1時間30分ずつ合計3時間派遣を行っている。保護者の希望で週1～2回の登園に合わせた派遣である。 公立保育所の1名は、医療的ケアの内容は経管栄養で、1日1回、週5日、1回につき60分以内の派遣である。 この他にもう1名、公立保育所に入所中の園児から利用申請が出されている。	(市) 保育・幼児教育課

令和4年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業 拡充事業 重点事業

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和4年度)	担当課
目標3 質の高い学びを 実現する教育環 境の整備	時代の変化に 対応した 教育環境の整備	26	学校施設照明LED化整備事業	学校施設(校舎、体育館、武道場等)の照明をLED化させることで、電気料金の削減が見込まれる。民間事業者と協議を行いながら、学校運営への影響、短期間の施工、電気代削減を十分検討したうえで、適切な事業方式や事業内容を検討する。	学校照明LED化に向けた導入可能性調査を実施する。	学校施設課
		27	学校施設整備保全事業(長寿命化改修)(小・中)	「大分市教育施設整備保全計画」に基づき、建物を築80年まで使用するため、小中学校施設の長寿命化改修を行う。	植田西中学校(体育館)の改修工事を行う。 大道小学校、植田小学校、鷺野小学校、鷺野小学校の体育館改修に係る設計業務を行う。 城南中学校(校舎・プール等)についてはデザインビルド方式(設計・施工一括発注方式)により実施予定であり、募集書類作成や契約締結支援等のアドバイザー業務委託を行う。	学校施設課
		28	大在東小学校施設整備事業	大在中学校区の人口増加に伴い、大在小学校及び大在西小学校の学級数の増加が今後も見込まれることから、通学区域を再編し、分離新設校を整備する。敷地内に児童育成クラブ等を含めた一体的な施設整備をデザインビルド方式(設計・施工一括発注)にて実施し、令和6年4月の開校を目指す。	基本設計及び実施設計を行い、校舎やグラウンド等の整備を開始する。	学校施設課
		29	金池小学校施設整備事業	「大分市教育施設整備保全計画」に基づき、金池小学校の校舎群を改築するとともに、校地の有効活用を図るため敷地内にある児童育成クラブ、認定こども園などを含めた一体的な施設整備をPFI事業にて実施する。グラウンド整備を含め、令和5年12月に整備工事が完了する予定である。	令和5年1月供用開始に向けた校舎整備を行う。 新校舎供用開始後については、既存校舎の解体やグラウンド整備を行う。	学校施設課
	教職員の資質能 力の向上及び働 き方改革の推進	30	教職員指導力向上推進事業	教職員としての使命感や教科指導等の職務遂行のために必要な専門的知識や技能、広く豊かな教養、これらを基盤とする実践的指導力の向上を図る教職員研修を企画、運営する。	各教科で育成する資質・能力や主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善等を踏まえた教科指導力の向上、ICTの効果的な活用、道徳科、外国語教育、特別支援教育等、新たな教育課題に対応した研修講座を充実させ、教職員の教科等の専門性を高めるとともに、実践的指導力の向上を図る。	教育センター
		31	スクールサポートスタッフ配置事業	教職員の事務負担を軽減し、子どもと向き合うための時間を確保するため、スクールサポートスタッフを配置する。	教職員の事務負担の軽減並びに新型コロナウイルス感染症対策を図るため、授業で使用する学習プリント等の印刷及び配布準備、授業準備及び片付けの補助、各種会議の資料等の印刷及び準備、アンケートの集計等の補助、消毒作業補助等を行うスクールサポートスタッフ81名を、すべての市立小中・義務教育学校(分校を除く)に配置する。	学校教育課
		32	学校給食費公会計化等学校徴収金管理事業	【体育保健課】学校給食費の公会計化に伴い構築した学校給食費・徴収金管理システムを使用し、学校給食費を一括して徴収管理するとともに、滞納整理業務を行う。 【学校教育課】私会計である学校徴収金については、学校給食費・徴収金管理システムにより、徴収事務の標準化、効率化、省力化を図り、教職員の働き方改革を推進する。	【体育保健課】学校給食費の納付は、原則、口座引き落とし、納付された学校給食費は、公会計化導入に伴い構築したシステムで、大分市が一括して徴収管理するとともに、滞納整理業務を行う。 【学校教育課】学校徴収金については、試行校15校を選定し、徴収方法を学校における現金による集金から口座振替に変更し、徴収事務に係る教員の負担軽減を図るとともに、全校実施に向けた取組みを進める。	学校教育課 体育保健課
		33	学校連絡システム整備事業	緊急時に迅速且つ正確に情報配信等を行うことができる「学校連絡システム」を運用し、学校や教育委員会と保護者等間の連絡体制を整備することで、児童生徒の安全・安心を一層促進する。また、併せてアンケート機能や欠席遅刻連絡機能等、教職員の負担軽減を図ることができる機能を有したシステムの運用を行う。	システムの適切な運用を行うとともに、保護者等のシステムへの登録推進を行い登録率向上を図る。 【令和4年3月時点 保護者登録率 約98%】	体育保健課
		34	部活動指導員活用事業	中学校に「部活動指導員」を配置し、同指導員による単独指導と大会等への単独引率を可能とすることにより、部活動の充実、活性化及び教員の部活動における負担軽減を図る。	市内中学校に部活動指導員を配置し、生徒の能力に応じた適切な指導を行うとともに、教員の部活動に係る負担軽減を図る。 【令和3年度 市内中学校16校に26名を配置】	体育保健課
		35	運動部活動総合活性化事業	地域の高度な指導力を持つ人材を運動部活動に活用することにより、生徒の多様なスポーツニーズに応え、運動部活動の実施体制の整備を図るとともに指導者の資質向上並びに適切な運動部活動の運営に寄与する。また、トップアスリートによる実技講習会を開催し、生徒に運動する楽しさ・喜びを味わわせ生涯スポーツの基礎を培い、競技力の向上につなげる。	平成27年度に設置した運動部活動外部指導者人材バンクを活用し、運動部活動の実施体制の整備を図る。また、登録者に対して研修会を実施し、外部指導者の資質向上を図る。 【令和3年度 登録者数206名】	体育保健課

令和4年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業

拡充事業

重点事業

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和4年度)	担当課	
目標3 質の高い学びを 実現する教育環境 の整備	地域とともにある 学校づくりの 推進	36	学校評議員・学校運営協議会	各学校の運営及び運営への必要な支援に関して協議する機関として、学校運営協議会を各学校の実情に応じて設置する。	計64校に学校運営協議会を設置し、学校運営への支援を行うとともに、未設置校の学校に対しては、今後の積極的な設置について指導する。なお、令和6年度に全校設置を予定している。 (令和3年度52校→令和4年度64校)	学校教育課	
目標4 生涯学習支援体制 や家庭教育支援の 充実	生涯学習支援体制の 充実	37 (市)	公民館類似施設整備事業	地域が管理運営する校区公民館・自治公民館の新築・改築・耐震工事等に要する経費の一部を補助することで、地域住民の生涯学習施設、地域づくりの拠点施設、災害時の防災拠点施設として十分な機能を備えたものとなるよう施設整備を促進する。	自治公民館2件の新築・改築を予定し、施設の修繕等については随時対応。	(市) 市民協働推進課	
		38	地区公民館施設整備事業	「大分市公共施設等総合管理計画」及び「大分市教育施設整備保全計画」に基づき、市内で一番古い鶴崎公民館の長寿命化改修を実施し、施設の利便性の向上及び機能充実を図る。	昨年度に引き続き、増築する集会室棟の建設工事を実施する。	社会教育課	
		39	のつはる西部の楽校管理運営事業	旧野津原西部小学校跡地の活用として、宿泊施設を整備した。自然に囲まれた美しい景観を活かした交流の場を通じ、社会教育の推進を図る。施設の周辺環境を活かし、家庭・地域では得難い体験の場や人々とふれあう機会を提供することで、社会教育の推進と地域の活性化に貢献する。	令和4年7月供用開始に向けて、各種広報に取り組むとともに管理運営委託団体への研修などを実施する。	社会教育課	
		40	関崎海星館施設整備事業	天文分野に関する学習の場や佐賀関の自然や豊予海峡を臨む景色が堪能できる憩いの場である関崎海星館について、施設の長寿命化及び機能の強化を図る。	建物改修及び外構工事並びに天文関連(望遠鏡の更新、プラネタリウムの新設、展示の充実)の製作・製造を行う。	社会教育課	
		41	市民図書館管理運営事業	学校、地区公民館等及び関連部署との連携により、生涯学習支援体制の整備を行うとともに、滞在型の図書館を目指し、読書環境のさらなる充実を図るための事業を展開する。	利用者への読書活動の支援や読書環境の整備を推進するとともにこれまで図書館利用機会の少なかった高齢者や障がい者等の利用拡大を図る。また、YA世代に向けて広報を強化することで若い世代に向けた図書館サービスを充実させる。	社会教育課	
	学習機会や内容の 充実	42	おおいたナイトスクール事業	さまざまな理由により、中学校で十分に学べなかった人や、生涯学習として中学校程度の学習内容を学び直したい人、大分の生活、文化や日本語を学びたい人に対して学習の機会を提供する。	植田公民館、コンパルホール、鶴崎公民館の3会場で実施する。 ○植田公民館(火) 英語(中学1年程度)・国語(中学1年程度) ○コンパルホール(水) 英語(中学2年程度)・国語(中学2年程度)・国際科 ○鶴崎公民館(木) ふるさと知ろう科・数学(中学1年程度)	社会教育課	
		43 (市)	子どもの学習支援事業	「生活保護受給世帯」及び「就学援助受給世帯」の中学生を対象に、学習塾にかかる費用の月額1万円(3年生に限り、7・8・12・1月は月1万5千円)を上限として一部助成し、子育て世帯の負担軽減を図り、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、子どもたちに学力を向上するための機会を提供する。	令和3年度助成決定者の利用期間は8月末まで。6月下旬に令和4年度の就学援助決定者に対し、説明及び申請書を配布し、申請を受け付ける(新規申請者は8月より、更新者は9月より利用開始)。また、11月頃に未申請者に対し再度申請書を配布し、丁寧な周知を行い、更なる利用促進につなげる。	(市) 生活福祉課	
	目標5 地域における子ども の健全育成の 充実	地域活動の充実	44	おおいたふれあい学びの広場推進事業	学校を中心とした身近な場所で、地域の指導者や団体等との交流を通じ、体験活動を行う。	地域主体型を34校区で実施し、子どもの体験活動を中核とした事業を実施する。団体ごとに活動回数に応じた補助金を交付し、活動を支援する。	社会教育課
			45 (市)	児童育成クラブ事業	就労などにより保護者が昼間家庭にいない小学校の児童を対象として、放課後に適切な遊びや生活の場を提供し、仕事と子育ての両立支援と児童の健全育成を図る。	児童育成クラブについては、今後も公有財産の有効活用等を図りながら施設整備を行うとともに、民間法人が運営する放課後児童クラブを活用することで定員の拡充(230人程度)を図るほか、放課後児童支援コーディネーターの巡回相談や指導員対象の研修会を開催するなど、クラブへの支援を進めることで、質・量の両面からの充実を図る。	(市) 子育て支援課
		46	青少年育成事業(中央補導活動事業)	大分市青少年補導員が気になる行動への声かけや商業施設からの情報収集を積極的に行い、子どもの非行防止に努める。	市民補導員による中央補導(月10回)、学校補導員による夜間補導(月4回)を実施するなど、関係機関と連携しながら市民と一体となった見守り活動や環境浄化活動を行う。	社会教育課	

令和4年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業 拡充事業 重点事業

(市)・・・市長部局

教育大綱目標	教育ビジョン重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和4年度)	担当課
目標6 文化・芸術を生かしたまちづくり	美術の振興と発信	47	新たな知の拠点整備事業	令和3年3月に策定した「アートプラザのあり方及び周辺エリア整備基本構想」においてアートプラザのあり方の方向性を「新たな知の拠点」とし、これを実現するために7項目の整備方針を定めた。この方針に基づき、磯崎新氏関係資料等の公開に必要な閲覧場の拡充、同資料のデータ化及びデジタルアーカイブの構築などを図り、建築家磯崎新氏の多様な活動を紹介するとともに建築や芸術などの研究者、芸術家や幅広い市民が集う「新たな知の拠点」として整備を行う。	整備の具体的な方向性を定める「整備概要」を検討し、策定する。施設の長寿命化を図るためアートプラザの躯体健全性・劣化度調査を実施する。磯崎新氏寄贈図書(約8,500冊)のデータ整備を行う。(～令和5年度)。	美術振興課
		48(市)	アートを活かしたまちづくり事業	文化・芸術の持つ創造性を、産業の振興や地域の活性化に活かすために、平成29年1月策定の「大分市アートを活かしたまちづくり推進戦略」に基づき、アートフェスティバル等のイベントなどを開催する。	第3回アートフェスティバルを開催する。また、アートフェスティバル開催に合わせて、新たなパブリックアートの制作やアートを活かしたまちづくりの普及啓発のためのイベント等を行う。	(市) 商工労政課
		49(市)	アーティストバンク推進事業	本市を拠点に活動する文化・芸術団体や個人のアーティストの活動を支援するため、活動者及び活動・発表の可能な場所の情報をデータベース化し、双方のマッチングを図る。	令和4年度は、現状分析として文化・芸術団体及び個人のアーティストを取り巻く環境や活動状況等の調査を行うとともに、活動の発表場所となり得る店舗や会社のオープンスペース等の利用実態の調査を行う。	(市) 文化振興課
		50(市)	アートレジオン推進事業	人口減少や少子高齢化が進む周辺地域に市内外からアーティストを呼び込み、アートイベントや制作活動等を通して文化・芸術の振興を図るとともに、地域住民との交流を促進することで、地域活性化につなげる。	①旧小学校を活用したアトリエ利用 令和4年4月現在 旧大志生木小学校6名/旧野津原中部小学校4名 ②周辺地域におけるアートイベント ・アトリエ利用アーティストを講師としたワークショップ 令和4年8月 大南こどもアート学校 開催 令和4年11月 大志生木こどもアート学校 開催 令和5年3月 野津原こどもアート学校 開催 ・地域周遊型展覧会 令和4年8月中旬～9月中旬 だいなんアートコレクション 開催	(市) 文化振興課
		51(市)	のつはる音の森フェスティバル	年間を通して音楽が溢れ、道行く人が心むような「音楽のまち大分」の実現するため「おおいた夢色音楽プロジェクト」を推進しており、その一環として、のつはる天空広場において、市内中学校吹奏楽部や別府アルゲリッチ音楽祭と連携した若手演奏家の発表の機会を提供することで、次世代の音楽文化の担い手の育成と地域の活性化を図る。	①のつはる音の森フェスティバル2022 日にち:9月10日・11日 場 所:のつはる天空広場 出演者:市内中学校・高校吹奏楽部、アルゲリッチ芸術振興財団推薦アーティスト、市内で活動しているアーティスト など ②ななせコンサート ※のつはる音の森フェスティバルプロモーションコンサート 日にち:9月4日 場 所:野津原市民センター 出演者:未定	(市) 文化振興課
	文化財の保護・保存・活用	52(市)	大分城址公園整備・活用事業	大分城址公園は、府内城の歴史的・文化的資源を活かしながら大分市のシンボルとなる公園である。「大分城址公園整備・活用基本計画」に基づき、取り組みを進めることにより、新たな魅力を有する「歴史文化観光拠点」としての形成を図る。	令和4年度は演出照明整備工事を行うとともに、昨年度に引き続き文化財に係る文献調査を実施し、事業の推進を図る。また、令和3年度まではPCR検体採取場を設置していたことから中止としていた、コンテナハウス案内業務(※)を再開し、情報発信を行う。 ※園内に設置している歴史展示スペースにおいて、府内城の歴史に関するパネル展示に加え、観光パンフレット等を設置し来訪者を迎える業務。	(市) 公園緑地課
		53	大友氏遺跡保存整備事業	約400年間豊後を支配した、戦国大名大友氏の本拠地である大友氏遺跡を将来にわたり保護、保存するため、大友氏遺跡歴史公園の計画的な史跡指定と公有化を推進し、同時に整備を行っていく。	令和元年度に改訂した「史跡大友氏遺跡整備基本計画(第1期)」に基づき、中心建物「大おもて」の立体復元プランの確定作業と中心建物域建造物の復元方法等について検討する。大友氏館跡の発掘調査では、南西隅の外郭施設(溝や土塁)の状況や位置を明確にするために発掘調査を進める。また、歴史公園整備のために、市道顕徳10号線及び市道錦町10号線の一部廃止と撤去工事を行う。	文化財課
		54	FUNAI文化遺産整備基金積立金	かつて「府内」と呼ばれた大分市中心部は、現在も大友氏関連史跡や豊後府内城などの貴重な文化遺産が存在している。これらの保全と整備、ならびに歴史を活かしたまちづくりの機運醸成に資するために、条例を設置し、5月の条例施行にあわせて、貴重な文化遺産の整備の一部に寄附を募ることをHPの掲載やチラシの配布、各種イベント時の周知等で図っていく。	5月の条例施行にあわせて寄附の受付を開始する。基金の周知方法として、募集の案内を各地の県人会や歴史等関連団体に直接案内をしていく。全国への周知として、大分市ホームページに掲載するほか、6月には市報に掲載する。10月に行う予定の大友氏遺跡フェスタ・宗麟公まつりや2月に予定されている大おもて会等で専用ブースを設置し、周知を図る。	文化財課

令和4年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業 拡充事業 重点事業

(市)・・・市長部局

教育大綱目標	教育ビジョン重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和4年度)	担当課
目標6 文化・芸術を生かしたまちづくり	文化財の保護・保存・活用	55	小牧山古墳群基盤整備事業	松岡地区に所在する県指定史跡小牧山古墳群は、自然に恵まれた環境の中に6基の古墳がそのままの状態で見守られており、市民の心身の健康を保つ癒しの場として、また地域の歴史に対する理解を深める学びの場として利用されている。今後は、古墳周囲の樹木を伐採し、周辺自然環境の眺望を良くするとともに、市民が利用しやすい環境整備等を行う。	現状の樹木の現状調査を行った上で、落葉時期にあたる11月～12月に樹木の間伐をおこない、眺望を確保する。また、現在ある老朽化した展望台を撤去するとともに、展望地周辺に安全柵を8月～9月に設置する。	文化財課
		56	DXによる地域文化資源の継承及び活用推進事業	本市には、多くの有形・無形の文化財、史跡の他、地域の行事や伝統芸能、豊かな自然や景観・まちなみ等の「文化資源」が存在している。本事業では、これらの貴重な文化資源を次世代へと継承し、観光・地域活性化・教育など、様々な分野へ活用していくことを目的として①「『大分市文化資源デジタルアーカイブ(仮称)』の構築・公開」、②「ワークショップによる文化資源の情報収集と活用促進」、③「文化資源を活用するための拠点施設の充実」を実施する。これにより、市民に対し「本市の歴史文化の魅力の再発見」、「市民の誇りと郷土愛の醸成」を促すとともに、本市の歴史文化の魅力をもっと多くの人に発信することにより本市が進める「地域まちづくりビジョン」の具現化に資することが期待できる。	「大分市文化資源デジタルアーカイブ(仮称)」の公開に向けて、システム構築・公開データの収集とデジタル化を進める。システム構築に当たっては、7月までにプロポーザルにより業者を決定し、システムデザインや魅力あるコンテンツ等の検討のうえ、文化資源のデジタル化とデータベースの作成を行う。	文化財課
目標7 スポーツを通じた地域活性化		57(市)	トップアスリート育成・支援事業	選手の競技活動に対する支援を行い、本市にゆかりのある選手が国際大会等の舞台で活躍することで、市民のスポーツに対する興味・関心が高まり、本市におけるスポーツ振興や競技力の向上につながる。	(障害福祉課) 申請見込4名(令和4年4月末現在) (スポーツ振興課) 東京2020オリンピック・パラリンピックの閉会後においても、本市にゆかりのある選手で大分県スポーツ協会が指定する強化選手に、引き続き国際大会等で活躍できるよう支援を行う。	(市) スポーツ振興課 障害福祉課
		58(市)	大南地区スポーツ施設整備事業	平成27年大分市スポーツ推進審議会からの答申や、大南地区振興協議会から継続的な市長要望等を踏まえ、大分市の大南地区にスポーツ施設を整備し、地域で身近に利用できるスポーツ施設の環境を創出することで、大南地区ひいては本市におけるスポーツ実施率の向上や、本市のスポーツ施設配置状況における地域バランスの是正を図る。	造成工事等の実施。	(市) スポーツ振興課
		59(市)	スポーツコミッション推進事業	ラグビーワールドカップ2019大分開催及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の国際大会を開催した成果を一過性のものとせず、スポーツ合宿や大型スポーツイベントを誘致することにより、交流人口の拡大、地域経済の活性化、本市の知名度向上、市民のスポーツへの興味関心の喚起及び地域の愛着心の醸成を図る。	【ハンドボール女子日本代表】 (期間)令和4年4月30日～5月8日(参加人数)28名 (場所)サイクルショップコダマ大洲アリーナほか 【堺プレイヤーズ(バレーボール)】 (期間)令和4年7月25日～7月30日 (場所)南大分体育館、サイクルショップコダマ大洲アリーナほか 【コベルコ神戸スティーラーズ(ラグビー)】 (期間)令和4年11月2日～6日 (場所)豊後企画駒原球場、豊後企画駒原ワークアウト 【マツダスカイアクティブズ広島(ラグビー)】 (期間)未定 (場所)豊後企画駒原球場、豊後企画駒原ワークアウト 【ソフトバンクホークスチーム甲斐(野球)】 (期間)未定 (場所)別大興産スタジアム 【那須ブルーゼン(自転車)】 (期間)未定 (場所)大分市内一円(佐賀関地区、野津原地区) 【青山学院大学陸上競技部(長距離)】 (期間)未定 (場所)昭和電工ドーム周辺	(市) スポーツ振興課
目標8 人権尊重を基盤とした教育活動の充実	学校教育における人権・同和教育の推進	60	教育指導一般事業(啓発資料の作成等)	部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向け、さまざまな人の考えや気持ちを共感的に理解できる力をはぐくむ教育の推進と充実に努める。	人権・同和教育に関する知的理解を深めるため、児童生徒対象及び保護者対象の学習資料をそれぞれ作成する。	人権・同和教育課

令和4年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業

拡充事業

重点事業

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和4年度)	担当課
目標8 人権尊重を基盤 とした教育活動 の充実	社会教育における 人権・同和教育 の推進	61	教育指導一般事業 (人権教育推進協議会等)	人権・同和問題の解決に向け、各地区人権教育(尊重)推進協議会等との連携を強化し、市民の主体的な取組を促す学習機会の提供に努める。	各地区人権教育(尊重)推進協議会と人権啓発DVDや講師の紹介・派遣等による連携を図る中、評議員を対象にした研修会を年2～3回、また地区住民を対象にした人権講演会を年1回、少人数の地区懇談会を各地区の実情に応じた回数実施する。	人権・同和教育課
目標9 人権尊重社会の 実現に向けた人 権啓発の推進	人権啓発の推進	62	人権フェスティバル等事業	「市民一人一人が互いに人権を尊重し合い、共に生きる喜びを実感できる地域社会の実現」へ向け、大型商業施設等において啓発活動を行う。地域住民の参加・交流を促し、人権啓発の推進を図る。	「市民一人一人が互いに人権を尊重し合い、共に生きる喜びを実感できる地域社会の実現」へ向け、イオンパークプレイス大分、J:COMホルトホール大分、お部屋ラボ祝祭の広場、地区公民館及び旭町文化センターにて、啓発活動や講演会等を実施する。	社会教育課

ヤングケアラーへの対応について

1. ヤングケアラーとは

ヤングケアラーとは、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子ども。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている
 家族に代わり、幼い子どもなどの世話をしている
 障がいや病気のある子どもなどの世話や見守りを行っている
 目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている
 日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている
 アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している
 がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている
 障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている
 障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

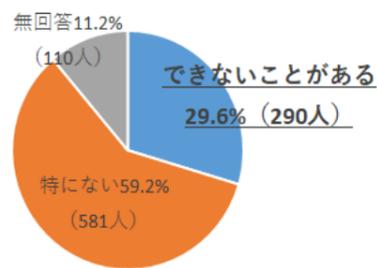
2. 大分県ヤングケアラー実態調査の結果（実施主体:大分県 調査期間 R3.10~11月）

県内の公立学校の小学校5年生から高等学校3年生の児童生徒に対して、ヤングケアラーとしての自覚、ケアの対象者及びその内容・時期・頻度などの現況、相談先や求める支援など、ヤングケアラー自身の状況について調査を実施した結果、57,259人からの回答があった。大分市からは25,440人からの回答があり、その内、世話をしている家族がいると回答したのは3.9%(981人)であった。

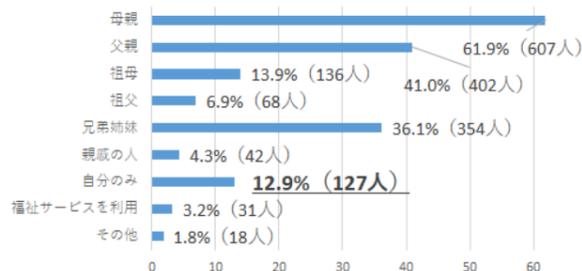
【世話をしている家族がいると回答した3.9%(981人)についての主な内容】

- ・お世話のため、やりたいけれどできていないことがあると回答 29.6%(290人)
- ・世話を一緒にしている人は「自分のみ」と回答 12.9%(127人)
- ・世話をしていることで、学校に行きたくてもいけないと回答(複数可) 1.0%(10人)
- ・世話の内容の例(複数可)としては、家事 40.2%(394人)、入浴やトイレのお世話 29.5%(289人)、外出の付き添い 23.0%(226人) など

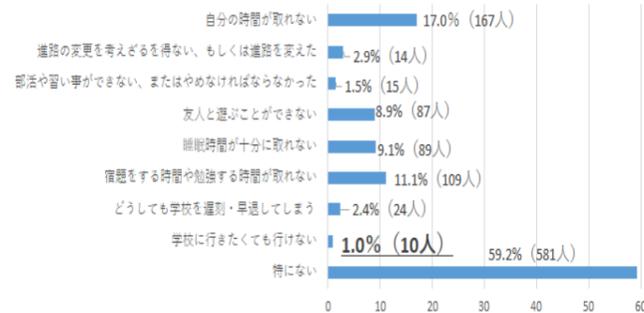
世話をしているためやりたいことができない



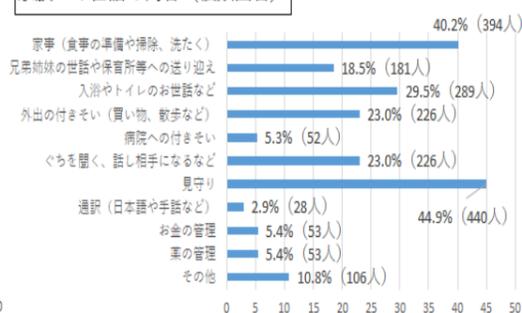
世話を一緒にしている人(複数回答)



世話をしているために、やりたいけれどできないこと(複数回答)



家族への世話の内容(複数回答)



3. 大分市の取組について

(1) 市ホームページやSNS等での情報発信

令和3年11月に開催した子育て支援・児童虐待防止啓発講演会で、ヤングケアラーについて正しく理解するための啓発チラシを配布し、参加者や関係機関への周知を図った。その他に、ホームページやSNSでヤングケアラー周知の情報発信を行っている。

(2) 子ども本人への啓発チラシの作成と配布

子ども自身が声をあげやすくする体制づくりとして、子ども本人への啓発チラシを新たに作成し、小学生(5、6年生)、中学生、高校生一人ひとりに、学校(県等と連携)を通じて配布する予定としている。



(3) 子育て世帯訪問支援事業

令和4年度新規事業として、家事・育児に対して不安・負担を抱えている妊産婦やヤングケアラー等に対して、相談支援や家事・育児支援を行う。また、要保護児童対策協議会における支援対象児童等に対して、民間団体と連携して食事の提供や学習支援を通じた子どもの状況把握を行い、見守り体制を強化する。

(4) 教育委員会等と連携したヤングケアラーへの対応

庁内関係課で組織する大分市児童虐待問題等特別対策チームにおいて、高齢者サービスや介護部門の情報収集、教育委員会との連携強化のため、新たに長寿福祉課と大分市教育センターを加え、ヤングケアラーへの対応の体制を強化する。

特に、教育委員会との連携では、学校の授業や生活指導の中で、家庭や児童生徒の置かれている状況を把握しやすいことから、ヤングケアラーに気づいた場合はスクールソーシャルワーカー等を通じ、子ども家庭支援センターへつなぐこととしている。

このほか、教職員研修において、初任者や中堅教員等を対象に子ども家庭支援センターの職員や教育委員会の指導主事がヤングケアラーや児童虐待の早期発見・対応についての研修を実施することとしている。

また、児童生徒が活用する一人1台端末の画面上のアイコン「困った時は」内に、ヤングケアラーの相談窓口に接続できるリンクを置くとともに、教職員には「ICT活用レター」により、児童生徒の端末からのヤングケアラーの相談窓口への接続等について周知を図っている。

さらに、教職員の理解及び気づきポイントの把握が必要であることから、ヤングケアラーや児童虐待への対応や支援にあたる学校に対して研修及びフォローアップを実施する予定である。